

日本の教育をよりよくするために

G4 班

宮城県仙台第三高等学校

昨今教育業界では、「個性の尊重」や「自分らしさの確立」が叫ばれている。今では集団にうまく属せなければ躊躇なく排除するのではなく、個々人が特性を存分に生かす社会に変わってきているのだ。そのため、教育方針は今にあったものにも変わるべきであり、汎用能力に加えて、各々が社会で役に立てると実感できるようなものである必要がある。そのために今まで以上に表現力、何事にも対応可能な柔軟性を伸ばすことが重要である。その他の面で生かせるこれからの世代がより活躍できる時代に合った能力開発をしていくべきである。

1 背景

最近全国的にも「共通テスト」が話題になった。大学入試センター試験に変わる新しい試験体系だが、これに変えようとした理由として、従来まででは測れなかった表現力、これを記述式の問題を複数教科で用いることによってこれからの人材を獲得するという事だった。結局、記述問題の導入は延期になったが、現代やこれからの時代では、今までとは求められることが、変わっているということである。しかし今の学校教育では学び方や学ぶことは、大きく変わっていないように思える。「個性」や「自分らしさ」を生かして活躍する時代になろうとしているが、それを学ぶ、発見するようなカリキュラムになっているのだろうか。

2 調査内容

まず、青山学院大学の山本寛教授にお話を伺い、経営学における必要な人材についてお聞きした。お話によると、業績の向上にはモチベーションと能力の両面が必要とのことだった。また能力のみの人材の場合はある程度の効果が期待できるが、モチベーションだけの人材になると任せられるのは単純作業、つまり、これからAIに奪われていくものに行き着くということだった。下の表の左側のように、将来的になくな

ることがほぼ確定している仕事が多くある。それらはロボットやAIがした方が時間、コスト双方で考えても効率のいいものであるため、このような予想になっているものと思われる。逆に、表の右側は将来AIに奪われる確率が低いものを表している。これを見るに、教師、作家、数学者など、考えること表現することにより成り立つ職業が主であるように思う。この結果から、やはりこれからの時代は柔軟な思考力、表現力が社会に求められることが伺える。

また教師は、生徒の能力を引き出すために教育を行う必要があり、教師によって生徒の能力の上り幅は違う。ここで、経営用語の一つに「能力開発」がある。これは教育においては、生徒の立場のように部下の人間の能力を発掘させられるように育成するという意味であり、山本教授によると、能力開発ができる人には条件があるという。それは専門性を持っていて、かつ内装化のできる企画を行えるということである。内装化とは、アウトソーシング(外部からサービスや専門性を持った人材を雇い、事業の一部を委託すること)によって、集団に特徴を持たせることである。これを利用して各業界では、コミュニケーションの理論学習、地域再生プロジェクトの体験、合宿形式で事業創造のメカニズムなどを行って優秀な人材を育成している。これを学校教育に応用し、アウトソーシングに

より、能力開発を行っていけばよいのだ。加えて、その企画の中にモチベーションが上がる要素を入れることが望ましい。そうすることで、モチベーションによる効果で能力はさらに上がり、最大限力を発揮できる生徒の育成が可能になるのだ。

仕事を奪われそうな職種		仕事を奪われそうにない職種	
職種	奪われる確率	職種	奪われる確率
電話による販売員	99%	医師	0.40%
データ入力	99%	小学校などの教師	0.40%
銀行の融資担当者	98%	ファッションデザイナー	2.10%
金融機関などの窓口係	98%	エレクトロニクス技術者	2.50%
簿記・会計監査	98%	情報通信システム管理者	3.00%
小売店などのレジ係	97%	弁護士	3.50%
料理人	96%	ライター・作家	3.80%
給仕	94%	ソフトウェア開発者	4.20%
タクシー運転手	89%	数学者	4.70%
理髪業者	80%	旅行ガイド	5.70%

3 結論

これからの社会で生きていく人材を作っていくには汎用能力はもちろんのこと、各方面において専門性を持ちあわせなければいけない。そのために、「内装化ができる企画」は必要であり、このことが能力開発の効力を最大限発揮するためにはなくてはならない。この能力開発を行う側の教師は、生徒の力を引き出すためにそれに応じた専門的な能力を備えているべきであると思う。例えば、接客業界が行っているコミュニケーション学習のようにある能力に秀でている人が講義や体験会を行うことで、受け手の接客に関するコミュニケーションスキルを磨くことができ、さらに受講者が次世代の人たちに教示することを繰り返し、業界の発展につなげていくことが可能だ。時代に合った価値観に合った能力を生徒が享受することによって生徒にとっても教師にとってもより良いものになっていき、教育現場、もっと大きく言えば日本全体に

影響を与えるような変化を、これから先作出するかもしれない。

【参考文献】

<https://www.co-media.jp/article/11088> 「人工知能の発達によって将来「なくなる仕事・なくならない仕事」